

4 FRIENDS 4 THE MUSIC

毎夏の恒例、アコーディオン奏者アンジェロと仲間たちによる
卓越した技量と音楽の喜びが一体になったスーパーライブ!

アコーディオン
Angelo Aquilini

クラリネット
Robert Borsos

ヴァイオリン
Salvatore Piediscalzi

トロンボーン
Donald Gibson

ワルトイフェル: ドローレス・ワルツ Op.170

アルビノーニ: アダージョ ト短調

サラサーテ: ツィゴイネルワイゼン Op.20

ベートーヴェン: ピアノソナタ 第14番

嬰ハ短調 Op.27-2「月光」より

ベートーヴェン: ロマンズ 第2番 へ長調 Op.50

ベートーヴェン(ギブソン編): エリーゼのために

ピアソラ: 南へ帰ろう

ジャンジャン: ギスガンドリー

マニャーニ: プレスティッシモ

デスモンド: テイク・ファイヴ

ロータ: 映画「フェリーニのアマルコルド」のテーマ

アクィリーニ: タンゴ組曲

「頑固タンゴ」「甘酸っぱい秘密」「さようなら」

2020
8/29 [土]

18:00 開演 17:30 開場 [自由] 一般3,000円 学生1,800円 ハーフ60 1,800円

「学生券」(＝小学生以上25才以下の学生が対象。)&「ハーフ60」(＝後半のみの当日券。事前予約受付不可)のチケットは、宗次ホールチケットセンターのみで取扱いとなります。

当面の間、座席の間隔を1席飛ばしとし、定員を150名といたします。(チャリティシートの設定はございません)
中止・振替等が発生する場合がございます。最新の情報は宗次ホールホームページまたはお電話でお問い合わせください。

チケットのお求めは

7月19日(日)
10時より販売開始

宗次ホールチケットセンターにて下記2種類の方法で受付

ちょこっとスムーズ

① TEL:052 (265) 1718 ② 専用受付フォーム→

(当日支払い/チケットレス)



くらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall

営業時間: 10:00~16:00 不定休

※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。

4 FRIENDS 4 THE MUSIC

アンジェロ・アキリーニ

Angelo Aquilini (アコーディオン)

イタリア、ピエモンテ州出身。10歳より民族音楽を中心にアコーディオンのレッスンを始める。レッスン開始から6ヶ月でホール、地方テレビ局へ出演し始める。

16歳で国際フェスティバル3位受賞。1986年第3回国際コンクールにて優勝。その後、数々のコンクールにて優勝及び上位入賞を果たす。その後3つの市立音楽学校にて1987年より2005年まで講師を務め、その内1996年より2004年まで教育管理の任務を行う。2001年より毎年来日し日本各地で演奏を行い、2005年より愛知県在住。

2009年よりアコーディオン専門店「monte accordion」、カンツォーネ教室「フチモトミュージックスクール」にて講師を務める。アコーディオン奏者coba氏がプロデュースするアコーディオンの祭典「Bellows Lovers Night」に、2009年より9回出演。2014年秋より放映されたNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」の第1話において、アコーディオン奏者として出演すると共にレコーディングを行った。

2017年4月より名古屋芸術大学の非常勤講師に就任。

サルヴァトーレ・ピエーディスカルツィ

Salvatore Piediscalzi (ヴァイオリン)

18歳でイタリア・パレルモ音楽院を最高点で卒業。幼少よりジャンルーカ・カンボキアーロヴァイオリンコンクール、トニーノ・パルド杯コンクールなど、数々のコンクールにて首位を受賞。2005-2006年に在籍したイタリア青年オーケストラでは、クシシュトフ・ペンデレツキ(ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団)、ジェフリー・テイト(ハンブルグ交響楽団)、エリアフ・インバル、ロベルト・アバドなど、著名な指揮者との演奏の機会を得る。

これまでに、ペスカーラ音楽アカデミー(2009)、アブルツォ青年オーケストラ(2010)、エンテ・ルッリオ・トラパニ・ミュージック(2011)、ヘリコン交響楽団(2012)、メディテラーネア室内楽団(2013)にてコンサートマスターを務めた。

2014年に日本に移住後、市川オペラ管弦楽団にてコンサートマスターを務め、名古屋室内管弦楽団でも演奏している。宗次ホールでもスイツタイムコンサート等に出演。



ロバート・ボルショス

Robert Borsos (クラリネット)

名古屋フィルハーモニー交響楽団首席クラリネット奏者。セルビア・パンチェボ出身。ベオグラード音楽コンクール、ノビサド音楽コンクールなど数々のコンクールで優勝、入賞を重ね、ノビサド音楽大学に入学。1年後、オーストリア国立グラーツ音楽院に入学。ベラ・コヴァーチ氏に学び、多数のソロコンサートに出演。2003年、同大学を首席で卒業。修士課程にてウィーン交響楽団首席ソロクラリネット奏者である、ゲラルド・パッヒンガー氏に師事。在学中ベオグラード交響楽団、グラーツ交響楽団、ウィーン交響楽団に客演。

2007年から2009年まで兵庫県芸術文化センター管弦楽団に在籍し、2009年より名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団。

YAMAHA クラリネットアーティスト。

Busan Maru International Music Festival アーティスト。

ドナルド・ギブソン

Donald Gibson (トロンボーン)

1994年の来日以降、東京でライブ活動을続け、「ビッグ・ウィング・ジャズ・オーケストラ」をはじめ、多くのビッグバンドに在籍。また、日野皓正(tp)、ケイコ・リー(vo)、寺井尚子(vn)、中島啓江(vo)などのミュージシャンとの共演経験も豊富。自らのコンボ「GIBSON 5」も率いる。

2009年、新コンボ「Gibson-Rowe 5」も結成。また名古屋の老舗ビッグバンド、「ジャズ・ラブ・オーケストラ」や名門TC.U.G.ジャズ・オーケストラでも活動。モダンからフュージョン、プログレッシブ、そして4ビートまで全てを吹きこなすトロンボーンの達人であり、文字通りの「巨人」である。去る2004年の巨匠「ジョージ・プロバート」氏とのジョイント・ライブでは、その素晴らしい資質を同氏から大絶賛された。2006年の名古屋・今池での「再ジョイント」ではさらに評価は高まり、「These Foolish Things」は歴史的な名演となった。

現在、自らが手掛けるトロンボーン・プロジェクト「TROMBONE NATION」では、プロ・アマ問わず、全国のトロンボーン奏者に広く参加を呼びかけている。2002年12月よりディキシランド・バンド「リバスト」に音楽監督として参加。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

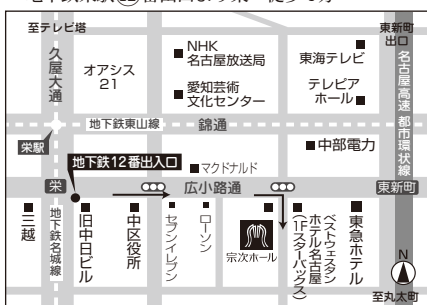
来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。
詳しくは、ホームページ www.munetsuguhall.com をご覧ください。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00 不定休